

20160925 「ローマ宣教」

目標：ローマ到着以降のパウロの伝道生涯を聞き、その生涯を全うした様から、使徒行伝1：8の御言が成就していることに気付く。

聖書箇所：使徒27：1-44 時間：10分

暗誦聖句：「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまでわたしの証人となるであろう」(使徒1：8)

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：子供たちが主に信頼と感謝をささげるには、そうするだけの感謝な体験が前提になければならない。パウロの生き様を提示して各々に信仰生涯の一モデルを刻ませ、将来なされるだろう主のお取り扱いを信仰をもって受け取れるよう備えさせることを本時の主眼とする。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前回パウロさんのどんなお話をしたか覚えていますか？</p> <p>パウロさんたちがたどり着いた島は、マルタ島という島でした。ここでしばらく過ごして出発し、ついにローマへたどり着きました。</p> <p>パウロさんの気持ちはどんなだったと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 船で遭難した。 忘れた。 	<p>遭難は印象深いので、たいていの子は憶えているか、ヒントを出すと思い出すはずである。</p> <p>マルタ島での出来事は興味深いのだが、本時の趣旨とずれるので、扱わない。</p>
課題探究	6分	<p>パウロさんの気持ちはどんなだったと思いますか。</p> <p>パウロは、皇帝に訴え出た囚人ということなので、番兵のいる家に住まわせてもらいましたが、外出は禁じられていたようです。</p> <p>外出を禁じられているパウロさんは、人々に訪問してくれるようにお願いしたそうです。</p> <p>パウロさんは、連日聖書を紐解き、約束の救い主はイエスであることと、神の国(主イエスによる救い)を語り続けました。</p> <p>パウロの言葉で主イエスを信じる人もいましたが、信じない人もいたそうです。</p> <p>パウロは結局、裁判の判決が下るまで二年間、この家に住んで伝道をしていました。</p> <p>この後、伝えられているところによりますと、裁判で無罪を勝ち取り、ついにスペインにまで伝道旅行に行ったそうです。</p> <p>何度も迫害されたそうですが、めげることなく、悪名高い皇帝ネロの時代に遂に捕らえられて、68年ころ殉教したと伝えられています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> やった。 神様ありがとう よし、伝道するぞ 	<p>なかなか実現しないローマ宣教は、パウロの悲願であった。ここで推察させることを通し、子供たちの心をパウロに少しでも重ねさせたい。</p> <p>みんなだったらどうするか聞くことは、自分たちが実際に似たような状況に置かれた時の参考になるので、時間が許せば問いかける。</p> <p>・ある面、いつものパウロである。</p> <p>一生懸命伝道しても挫折した人には励ましとなる。</p> <p>「テキスト研究」のクレメンスの手紙を引用してもよい。</p> <p>テモテへの第二の手紙はパウロの殉教2~3週間前のものだと伝えると、ある子どもは興味を持つかもしれない。</p>
まとめ	2分	<p>皆さんは、今まで何回もパウロの生涯を見てきて、どのような感想を持ちましたか。</p> <p>先生は、使徒行伝の最初に、イエス様が言われた御言を思い出しました。</p> <p>当時地の果てと考えられていたのは、スペインでした。でも、今は、それは地の果てではないというのは、みんな知っていますね。</p> <p>あなたの地の果ては、どこなのでしょうね。</p> <p>イエス様を信じていてもいなくても、悪いことには遭遇します。でもイエス様は救主なので、それを私たちのためになるよう仕向けて下さいます。こんなすばらしい方が私たちについて下さっているなんて、なんと私たちは幸せ者なのでしょうかね。</p> <p>暗誦聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> すごい ぼくにはできない わからない 	<p>色々挙げさせたい。肯定的なものも否定的なものも、上げさせて、その中で、自分に照らして考えているものを拾うようにする。</p> <p>板書されている使徒1:8を提示する</p> <p>パウロは、自分にまかされていた分については、その御言は確かに達成されたと思っていたことは間違いない。</p> <p>考えさせるだけで充分である。生涯追及すべきテーマだからである。</p> <p>185号のテーマからの反映。</p>